

		事業所管部局	厚生労働省健康局水道課	
計画事業名	相模貯水池大規模建設改良事業		事業担当局	水道局
事業採択年度	着手年度 H9年度		認可・承認等年度	H9年度
経過年数	5年		該当条項	事業採択後5年間を経過
完了予定年度	H31年度		関連事業名	
事業の目的・概要・課題	<p>事業目的</p> <p>神奈川県の高質な水がめである相模貯水池においては、ダム・の宿命である堆砂が進行している。本事業は、県内の水道事業体、工業用水道事業体等と共同して相模貯水池の貯水容量を回復し、安定的な水道水、工業用水の供給を確保するものである。</p>		<p>事業採択時の背景及び契機</p> <p>本事業は平成5年度から実施していたが、平成9年度に水道水源開発等施設整備費国庫補助（水道水源開発施設改築事業費）の交付要綱が改正され、補助対象事業となった。</p>	
	<p>事業内容</p> <p>主体 神奈川県企業庁</p> <p>期間 平成5年度～平成31年度</p> <p>工事内容</p> <p>堆砂の浚渫、流路整備、貯砂ダム等の設置、河床のポケット化を実施し、貯水池の年平均40万立方メートルの土砂流入に対して、年間55万立方メートルの土砂を除去し、事業開始時の堆砂率29.7%を事業終了時の平成31年度において25.5%まで改善する。</p>		<p>事業採択(着工、未着工)から基準年を経過している主な理由</p> <p>堆砂による貯水池上流域の洪水災害の防止、浚渫した土砂の陸揚場のスペース、搬出のルート等の制約により、事業期間が長期にわたることによる。</p>	
	<p>事業費規模（単位：百万円）</p> <p>(1)総事業費 63,000 （神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の負担額合計） （うち 国庫補助金 8,597）</p> <p>(2)残事業費 48,618 川崎市の事業費内訳</p> <p>(1)総事業費 19,667 上水負担分 14,052 工水負担分 5,615 （うち 国庫補助金 3,245） 上水負担分 2,950 工水負担分 295</p> <p>(2)残事業費 15,181</p>		<p>現状の課題</p> <p>平成5～11年度の前期計画では、浚渫は順調に進んだものの、流入土砂抑制対策である貯砂ダム計画が遅れている。</p> <p>事業開始時 堆砂量 1,874万立方メートル 堆砂率 29.7%</p> <p>平成12年 堆砂量 1,845万立方メートル 12月末 堆砂率 29.2%</p> <p>平成12年度からの中期計画においては、貯砂ダムの計画の遅れを補完する対策としての河床のポケット化を進める。</p>	

評価の概要	本事業によって相模貯水池の貯水容量を回復することにより、安定的な水道水の供給を確保することができる。
-------	--

再評価への考え方	相模貯水池は、将来にわたり、神奈川県内の水需要にとって必要不可欠な水源であり、本市水道事業にとっても貴重な水源である。堆砂の浚渫、貯砂ダムの設置等を継続的に実施し、相模貯水池の延命を図ることは、新たな水源開発に準じるものと位置づけられ、将来にわたって市民に安定的に水道水を供給するためには本事業を継続する必要がある。
----------	--

対応方針案	<p>対応方針案</p> <p><b>継続・中止・休止</b></p> <p>対応方針案の考え方</p> <p>水道は市民生活に必要なライフラインであり、安定的な水道水の供給を確保しなければならない。</p> <p>安定的な水道水の供給を確保するには、県内の水道事業体、工業用水道事業体等と共同して相模貯水池の貯水容量を回復するため、本事業を継続することとしたい。</p>
-------	--